



子どもにツケをまわさない！  
35歳 無所属 埼玉県議会議員



# すがわら文仁

ふみひと



※すがわらレポートは、定期的にお配りする気軽な新聞です。 42号 発行者 すがわらふみひと 戸田市美女木 8-21-6 TEL/FAX 048-422-1673  
HP: sugawarafumihito.com メール: sawayaka@sugawarafumihito.com  
【刷新の会/戸田支部】事務所: 戸田市本町 5-12-26-2F 刷新の会戸田支部 TEL/FAX 048-299-4949

無所属中心の新会派！（9名）

## 「刷新の会」を結成！

埼玉県議会の会派構成が決定しました。地方議会は国政と違い、政党が内閣を組織しない二元代表制です。一党一派に縛られず、真に県民本位の政治を実現し、またこれまでのように正論を貫きたいという思いから、無所属議員で構成する会派「刷新の会（9名）」の結成に参画しました。

今のような危機状況においては、民主だ、自民だと言っている場合ではなく、議会も一丸となって、知恵を出し合い、県民生活を守る提案と決議を繰り返し行い、スピード感ある県政運営に努めなければならないと思います。

そういった意味からも、政党政局とは一線をおき、政策本位の政治集団である「刷新の会」は、自民党県議団、民主党県議団に次ぐ、第三の会派として、埼玉県政の改革と刷新に、大きな力を発揮していくことができると確信しております。

これまでと同じように、しっかり市民本位の政治姿勢を基本として、活動して参る所存です。

### すがわら文仁（ふみひと）プロフィール

■党派 無所属

■略歴

昭和50年7月30日 生まれ 現在35歳  
戸田市立美谷本小学校・美笹中学校・埼玉県立伊奈学園総合高校・日本体育大学卒業（教員免許取得）明治大学大学院修了（公共政策学修士）

元社会体育事業会社（現在NPO）代表

■政治歴

平成17年 市議会選挙当選 1,993票（第2位）  
平成21年 市議会選挙当選 4,143票（市内歴代1位）  
平成23年 県議会選挙当選 16,350票（選挙区歴代1位）

■役職

企画財政常任委員会委員 地方自治学会会員 若手政治家養成塾事務局長 戸田市体操協会会長など

■趣味 読書 史跡巡り B級グルメ探し

■特技 バク転 のび太並みの早寝

■座右の銘

上杉鷹山「なせばなる、なさねばならぬ、なにごとも」

■夢：努力した人が報われる社会の実現



3月11日(金)

大震災直後の市役所  
帰宅困難者向けに、戸  
田市内の被災状況を、  
ツイッターで発信し続け  
ました



3月12日(土)

戸田公園漕艇場  
市内全域をくまなく巡  
回、戸田市でも液状化  
現象と地割れが発見さ  
れました



3月14日(月)

東電が計画停電開始  
情報が錯綜し、大混乱  
の中、昼夜を問わず、  
必死で停電スケジュール  
を配り歩きました



4月7日(木)

県議会議員選挙中の  
街頭演説  
防災・危機管理対策等  
を中心に、8つの改革  
案をお訴えしました



4月10日(日)

選挙事務所で当選の  
一報を聞く  
多くの市民の皆様のご  
期待に応えられるよう、  
初心忘れず日々精進



5月15日(日)

南相馬市で炊き出し  
プロのすし職人さん達に  
交じって中学校に避難  
する150人分の昼食を  
作っています



5月17日(火)

任期開始。初登壇  
新人と言うことで、テレ  
ビ埼玉のニュースにも  
少々ですが取り上げて  
いただきました

# 埼玉県議会議員選挙結果

候補者名	得票数	得票率	党派
○菅原文仁	16,350 票	43.4%	無所属
○細田 徳治	8,170 票	21.7%	自民党
▲峯岸 光夫	7,457 票	19.8%	自民党
▲中島 浩一	5,153 票	13.7%	民主党

※総投票数 37,667 票 (前回 35,161) 投票率 40.5% (前回 39.9%)

## 菅原文仁は、戸田市選挙区 (定数2) で1位当選!

はじめに、公選法により「当選の御礼」は禁止されておりますので、どうかお許し下さい。

今回の選挙戦は、東日本大震災直後の状況下、これまでとは大きく異なる雰囲気の中、政策をお訴えすること自体も難しく、また、私が立候補を表明した時にある政党の方から「残念だが菅原君の当選はない」とも言われたように、新人には大変厳しいものでした。

しかし結果としては、2位当選の方に2倍以上という、これまでの選挙区最多得票 11,632 票を約 5,000 票差、空前の 16,350 名の付託を賜り当選させていただくことが出来ました。これもひとえに、市議会議員の時からご指導いただき、また叱咤激励を賜りました市民の皆様のお陰です。また、ボランティアでお集まりいただいた私の友人、知人の皆さまにも、昼夜問わず、お手伝いと応援をいただき、感謝の念に堪えない思いです。埼玉 720 万人の代表たる県議会議員という職責の重さと、皆様から頂いた政治改革への期待を常に忘れず、気を引き締めて挑戦を続けます。



政治家は、政治姿勢や政策プロセスも大事ですが「結果」が問われる世界で戦う職業です。戸田市民の代表、埼玉県民の代表として、現場主義と政策本位を貫き、お訴えした「埼玉県政改革八策」を中心にして、真摯に県議会、県政で大きな成果を出せるように、死に物狂いで働いて参ります。そしてこれからも、駅に立ち、自転車に乗り、レポートをお配りして、情報開示と説明、政策提言を続けていく事を、改めてお約束させていただきたいと存じます。

今後とも、皆様の温かいご指導と厳しい激励を賜りますよう、よろしくお願い致します。

# 埼玉県議会の会派構成

会派名	人数
自由民主党議員団	55 人
民主党・無所属の会	14 人
公明党議員団	9 人
※刷新の会	9 人
共産党議員団 (非交渉会派)	2 人
社会民主党 (非交渉会派)	1 人
会派なし (無所属)	4 人
計	94 人

※非交渉会派とは、3人以下の会派で、議会運営に関する交渉権をもっていない会派をいう

## 刷新の会とは?

無所属の若手市議経験者を中心に結成した刷新の会は、国や地域の歴史、伝統、文化を大切にしながら、一党一派に縛られることなく、国会における対立にも左右されない、県民本位の立場で県政を刷新し、大改革する事を目的とした政策集団です。

県政調査費の全面公開や費用弁償の廃止、定数削減なども積極的に推進します。会派は、鈴木正人代表らが中心となって4年前に設立しましたが、そこに新たに4名が合流するカタチで、公明党議員団と並ぶ第3会派となりました。議案提出権も保有し、主体的に政策提案を進める事ができますので徹底的に県政の改革改善を推進して参ります。

現在、すがわらの提案により会派の役割や政策の方向性を定めるための会派規約を作成しております。

## 「刷新の会」所属議員

	代表 鈴木正人(42) (3期)志木市 無所属 国土館大 元市議		相談役 石田昇(62) (3期)鳩ヶ谷市 無所属 日本大 元市議
	副代表 中屋敷慎一(51) (2期)鴻巣市 無所属 東京経済大 会社役員		幹事長 小野克典(42) (2期)桶川市 無所属 東海大 元市議
	政調会長 船橋一浩(39) (2期)川越市 無所属 早稲田大院 元会社員		総務会長 江野幸一(60) (2期)東松山市 無所属 日本大 元市役所職員
	政調会長代理 藤沢慎也(33) (1期)越谷市 みんなの党 中央大 元議員秘書		総務会長代理 井上航(31) (1期)和光市 無所属 立命館大 元市議
	幹事長代理 菅原文仁(35) (1期)戸田市 無所属 明治大院 元市議	県議会 ホームページ 写真	
		役職 氏名(年齢) (期数)選挙区 所属政党 最終学歴 主な経歴	

# 早速、要望書を作成して、 上田知事に提出しました。

## 東日本大震災に関する要望書 (6月1日提出)

(以下、要望書の内容です)

本年3月11日に発生した巨大地震及び津波は、我が国に未曾有の被害をもたらし、多くの尊い命と国民財産を奪いました。また、東京電力福島第一発電所の事故に伴う電力不足と、放射性物質の拡散は、国民生活に大きな影響と不安を与え、未だ予断を許さない状況が続いています。

本県は、双葉町をはじめとする被災者の受入れや、被災地への人的、物的支援など、様々な施策を矢継ぎ早に行なっており、上田知事の強力なリーダーシップによるこれまでの活動は、県民にとっても、大変心強いものと評価するものであります。しかしながら、未だ目途がたたない被災者の生活再建と自立、二転三転する国や東電の原発対応に伴う県民不安の解消、地域経済への影響、防災対策の見直し、県内電力消費の大幅抑制対策など、中長期的な課題も含め、対策が山積しており、本県が更に一丸となり一層の努力を行わなければ、この震災を乗り越える事はできません。

このような状況を鑑み、刷新の会としては、本県がよりの確に、充実した対策を行えるよう、下記の通り強く要望します

### 放射線対策について(概要)

- 市町村の放射線計測の積極的な支援を行うこと
- 放射線量の測定については、地上50cmでの測定で統一する事とし、定期的な実施、県民への正しい情報提供に努めること
- 県産農作物の風評被害を最小限に食い止めること
- 下水処理施設の汚泥、焼却灰の放射線量の監視体制を強化し、二刻も早い最終処分体制の再構築を図ること
- 汚泥と焼却灰に対し早急な処理方法の策定を国に要望すること

### 被災者支援について(概要)

- 避難者の意向を踏まえた就業支援に努めること
- 介護が必要な避難者や、生活に困窮している避難者などに対して必要な福祉サービスを提供すること
- 避難者への公営住宅支援など、中・長期的な支援に努めること

### 防災対策について(概要)

- 現在学校や病院に配備されている地域防災無線網を各町内会の自主防災組織等へ拡大を検討すること。
- 緊急消防援助隊に支援車Ⅰ型の配備を進める事
- 帰宅困難者対策については、県内各市町村、企業等と連携を深め、円滑な支援を行うこと



知事室に会派で訪れ



要望書を渡しました

### 戸田市の放射線量関連の要望について

※以上の要望書提出の後、この度放射性物質の測定を行なった荒川水循環センター(戸田市笹目)に視察を行ない、焼却灰と汚泥の適正な処理と飛散防止措置、放射線量の監視、公表の徹底、業者受入れの早期再開を協議して参りました。

これから戸田市内の線量測定も始まります。新曽ポンプ場、下戸田ポンプ場、水循環センター周辺の測定強化を促すなど、徹底した情報開示を求めて参ります。

# 福島原発20~30キロ圏内 南相馬市、復旧の目途は遠い



津波により、荒野と化した南相馬市の沿岸部。無残にひしゃげている送電線塔が津波の破壊力を物語っている



犠牲者に花を手向け、冥福を祈る



自動車が原型をとどめていない



南相馬市の桜井勝延市長と話す



被災時刻で止まっている時計

福島第一原発に程近い南相馬市。災害NPO団体の被災地支援にご一緒させていただきました。子どもは全員市外に退去して、家を失った高齢者を中心に150名ほどが生活をされている原町第二中学校。すし職人さん達とともに行なった炊き出しの合間に、米タイム誌「世界で影響力ある100人」と発表された桜井勝延市長が訪問され、少しお話を聞く事ができました。市長は「原発に近い事で、南相馬は見放されているのか」と厳しい現実を話されておりました。

地震、津波、放射線、風評被害という四重苦に、言葉を失いましたが、必ずまた応援に行こうと約束し帰宅しました。

### 編集後記

4月30日から任期を戴き、議員活動がスタートしました。しかし、まだ臨時議会1日のみの開催ですので、6月議会が始まる(6月20日~予定)、これからが本番です。今は所属委員会の議事録や過年度予算の資料を取り寄せて猛勉強中です。

ところで、市議会と県議会の違いについて、いくつか気付いた点を挙げます。議案質疑と一般質問が少ない(1人1回/年)、議員連盟がある(市議会はない)、予算(決算)特別委員会がある(質問時間制限もある)等...です。以上の事から、県議会は、94人と規模が大きい分、出番の少ない本会議よりも、常任委員会や予算委員会をベースに、提言したいと思います。

そしてその政策は、選挙に掲げた8分野、46項目の「県政改革八策」の実現とともに、レポートによる情報公開、説明の徹底と議員立法を視野に入れた改革案提示を進めて参ります。

まずは6月議会です。関心の高い放射線量測定や、危機管理、また大規模補正予算など、重要案件をしっかり審議します。

# クロストーク第4弾！ すがわら文仁×鈴木正人（刷新の会代表）

クロストークでは、様々な分野で活躍されている方との対話によって、政治や行政の課題解決を探ります。第四弾として、刷新の会の代表であり、すがわら文仁が所属する事となった会派「刷新の会」の代表である鈴木正人氏にお話を伺いました。

## 県政改革の同志として

すがわら

鈴木さんとは、政党に頼らない政治姿勢で無所属を貫き、頑張っている政治の先輩として、また市議の時から旧知の仲としてお世話になっておりました。このたび、会派で一緒に過ごさせていただき、ありがとうございます。

鈴木

市議の経験もあって、政策に明るくて、クリーンな菅原さんのような方と一緒に県政改革を進められる事は、願ってもない事です。即戦力として、よろしくお願いします。

すがわら

鈴木さんは、お笑い芸人から政治の世界を目指した、かなり異色の経歴をお持ちですね。私も体操のお兄さんから政治にチャレンジしたので、何だか共感を覚えます。

鈴木

私は芸人では芽がでなくて、河村たかし代議士（現名古屋市長）のところで世話になって、埼玉に戻ってきて政治家を志したんです。私は国士館ですし、すがわらさんは日体大。体育会系な部分とか、国家観といったところも近いですね。

すがわら

お互い雑草系というか、つまり、政治エリートじゃないってところでも（笑）。

鈴木

たしかにそうですね（笑）でも、河村さんが言ってましたけどね「正人ちゃんよ～、庶民が政治やらにや～、この国はもう、どうもならんでよ～」って。我々は、確かに政治のエリートではないけど、市議として市民の直接の声を聞いて、活かすっていう基礎があるから、教科書には載っていない、生の声を届ける事が出来るし、それはやっぱりメッセージとして強いものがあるわけですよ。

すがわら

同感です。平時と違い、まさに危機の時代の政治は、流動的ですし、何事にもとらわれない決断と反射神経が求められてると思います。

鈴木

そうですね。政党ではなくて、県民の気持ちが直接行政に伝えられる、我々のような者もないといけなと思います。

## 東日本大震災への対応

鈴木

東日本大震災について、早速会派として知事に要望書を提出しました。

すがわら

埼玉県は比較的被災が少なかったものの、放射線対策、被災者対策、これからの防災対策と、県が市町村と連携してやらなければならないことがたくさんありますね。

鈴木

上田知事も、双葉町民を一早く受け入れたり、先月も県内100か所の放射線量測定を行なうことを発表したりと、大いに評価できます。しかし、汚泥の処理とか農作物の風評被害の防止など、さらに対策を加速させなければいけませんね。

すがわら

私は選挙で、地域住民の生活の安全と教育、そして納税者、有権者への説明をどう正しく行なうかが大事だと訴えました。常に市民と接していないとわからない問題、例えば放射線量の測定値など、私のところにも多くの問い合わせがありましたので、そういった声も強く反映させましたね。

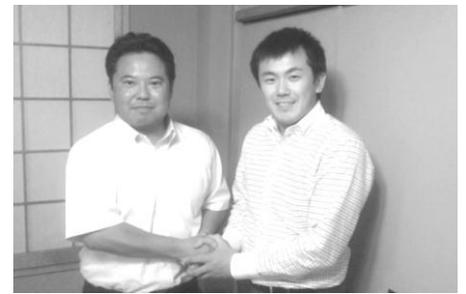
鈴木

今の国会が、どうしようもない状態なので、我々のような地方議員がそういった世の中を埼玉から作るぞ！という気概で、県民をリードしては行けませんね。

## 公共心が国民、県民を守る

すがわら

今回の3月11日以降、日本は確実に大きく変わりました。「水と安全はタダ」など、もうあり得ないのであって、行政能力の限界も感じましたし、放射線量の問題にしても、自分たちの安全をどう守るのかをしっかりと自覚していかなければならなくなりました。また一方で、津波で流された町でも、この首都圏でも、日本



刷新の会代表鈴木正人（すずきまさと）氏  
1969年 志木市生まれ 41歳 国士館大学卒  
志木市議会議員3期を経て埼玉県議会議員3期

人が亡くしかけていた「公共心」が芽生えてきた。これまでのような「今さえ良ければいい、自分だけ良ければいい」のでは、もうこの国の将来は守れないのだと思います。

鈴木

大震災はもはや国防問題でもあるわけですよ。国防は、敵から国を守るといふ本来の意味と、天変地異等から国民を守るといふ意味があります。挙国一致で国を守るためにも、そろそろ国民が目覚めて、行動様式を変えなければならぬと思います。教育の在り方も含めて、変えていかないとはいけませんね。

すがわら

滅私奉公の精神というのは、本来我々日本人の美徳としてDNAに埋め込まれているはずなのですが、戦後すっかりなくなってしまった。エネルギーや資源もなく、食糧自給率も低い、私たちのような国民は、基本的には助け合って生きていかなければならない。今こそ、県民、国民ひとり一人が、公（おおやけ）とは何かをもう一度考えていかなければならないと思いますね。

鈴木

私たちは、数の力がモノを言う議会の中でも、是々非々で正論を吐いてきました。政務調査費の部分公開や意見書の採択など、いくつか勝ち取ったものもあります。壁は厚いですが、改革を志す我々のような若手が、一致団結してぶつかっていけば、必ずや道は開けると思います。

すがわら

望むところです。政党組織は縦軸ですが、世代は横軸だと思います。政党を超えて、横の連携をリードしていけるのは、我々だと思います。今、政治の世代交代は過渡期です。先人を敬いながらも、次世代のために頑張りますので、これからよろしくご協力致します。本日はありがとうございました。